

神が行為者

あらゆる技能を備え、大冒険に耐え得るようにできている人間の体は、あなた方への神からの贈り物です。その体を、生と死、囚われと釈放の間にある、このサムサーラ（変化）という決して静まることのない海を渡る船として使わなければなりません。身体的能力と心的能力に優れ、識別力がはっきりしている時に、この第一の義務に気付きなさい。その船に乗るのを延期してはなりません。体はすぐに病を負うかもしれないのですから、それを良い状態に保つためにあなたの全注意を注がなければなりません。解脱の岸边に辿り着いたときに、あなたの内面に湧き上がるであろう比類なき歓喜のことを考えなさい！サムサーラ（世俗の生活）の荒波を安全に渡りなさい。照覧者となり、行為の果実を望まず、行為の結果をすべて神の意志に任せなさい。神が行為者です。あなたは神の道具にすぎません。霊性修行を実践し、敗北や勝利に影響されることなく、波立つことのない平安を確立しなさい。—1968年7月4日の御講話

純粋な帰依者とは、外界で起こっていることに関心がない、ウダースィーナという資質を持っている人です。帰依者が持っていなければならないその他の性質は、利己主義と所有欲と無縁であることです。そして、自分が行為者である、所有者であるという意識も克服しているべきです。このような帰依者は神にとって愛しい存在であると、ギターの中でクリシュナが宣言しました。当然ながら、このような帰依者は、あらゆる世俗的関心事に対する無執着（離欲）を示し、現象世界で起こっていることに関心を示さなくなります。彼は、賞賛も非難も、喜びも苦しみも気にしません。あなたが持たなければならないもう一つの資質は、己の行動の成果に対する執着を放棄することです。すべては神のものです。それゆえ、価値ある活動に従事し、神を体験しなさい。神の使命の中にあり、成功にも失敗にも、喜びにも悲しみにも左右されない人はすべて、神の恩寵をふんだんに受け取るでしょう。—1996年10月3日の御講話より